

- (1) 謹賀新年
- (2) 新たなアスベスト被害
- (折) 人間らしく働くための九州セミナー
- (3) 文化運動
- 1年間のソリダリテ
- (4) 大増税の嵐行事予定

SOLIDARITE 「連帯」 ソリダリテ

建交労大牟田支部通信

(No. 22)



菊池地方の夜明け

更なる闘いに向けて心新たに

謹賀新年!

みなさん、新年明けましておめでとうございます。どうぞよい

安倍自公政権は、「森友・加計」問題で追い詰められ、所信表明も行わず、国会冒頭解散を行い、総選挙を強行しました。

と野党共闘は、安倍自公政権を追い詰めていきましたが、希望の党の出現、民進党の合流などのため、野党共闘の足並みが乱され、総選挙では、自公政権の勝利と言う結果になりました。

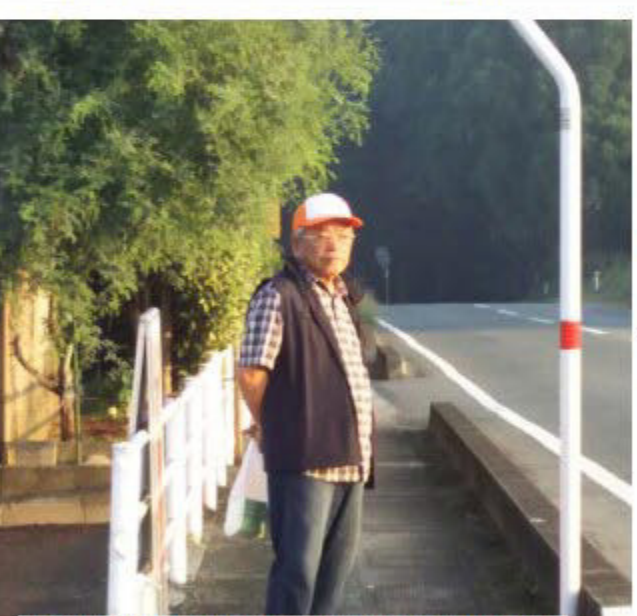
しかし、立憲民主党・共産党・社民党など、市民連合と野党共闘で闘った地域では、38議席から69議席に躍進し、沖縄をはじめ、自公政権を圧倒した地域もありました。

こうしたことから「安倍首相の終わりの始まり」と言われ、今年のは、安倍追い落としの波が大きく広がることでしよう。

いまは、辺野古の沖繩、かい、古の民世論を代表して、政府の暴走を許さない闘いを一非暴力の闘いを呈しての闘いとなつてい

す。米軍と基地は、現に戦争を行っている軍隊だから、沖縄県民が犠牲になるのは当たり前前みに、何度抗議しても、過ちを繰り返しています。これに抗議もできず、米

今年も、沖縄県民と一緒に闘ってゆきたいと思っ



朝陽を浴びながら早朝ピラ配布スタンバイOK

倍9条改憲NO! 憲法を活かす全国統一署名」の達成です。

今回は、30000万署名と言われています。

今年5月まで、建交労県本部5000筆、大牟田支部500筆、一人10筆の目標です。苦しく、厳しい闘いが続きますが、一人ではできなくともみんなで頑張ればできます。

「誰もが幸せに暮らせるために」みんなで頑張ります!」

執行委員長 平川 道治

じかたび

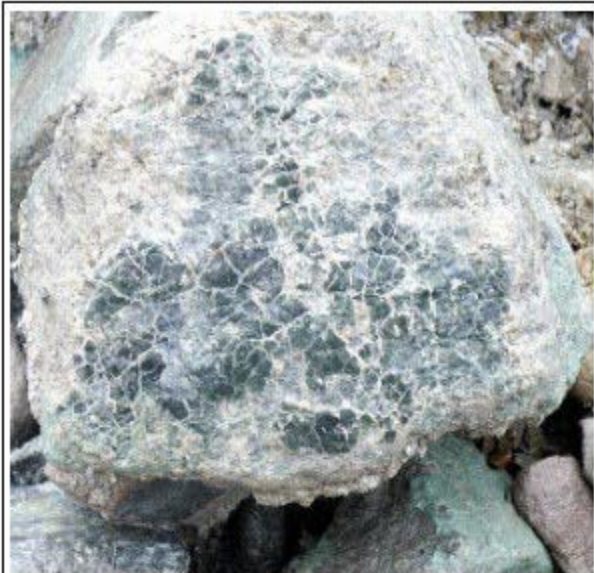
19世紀末、フランスで労働者階級が、資本主義での差別と抑圧からの解放には、独占的支配階級(資本主義)からの脱却だと目覚め、世界中に広まった前衛的労働歌です。

「インターナショナル」

1. 起てろえたる者よ 今ぞ日は近し
さよ我が同胞 暁は来ぬ
暴虐の鎖たつ日 旗は血に燃えて
海をへだてつ我等 腕結びゆく
- いざ戦わん いざ ふるい起ていざ
あ>インターナショナル 我等がもの
いざ戦わんいざ ふるい起ていざ
あ>インターナショナル 我等がもの
2. 聞け我が雄叫び 天地轟き
屍越ゆる我が旗 行く手を守る
圧制の壁破りて 固き我が腕
今ぞ高く掲げん わが勝利の旗
●くりかえし

新たなアスベスト被害

庭石などに使われる「蛇紋（じやもん）岩」に含まれるアスベスト（石綿）を吸入して肺がんになったとして、埼玉県の造園業の男性（71）が熊谷労働基準監督署に労災認定された。蛇紋岩による石綿健康被害の労災認定は極めて珍しい。蛇紋岩に石綿が含まれていることはほとんど知られておらず、他にも多くの被害者がいる可能性がある。蛇紋岩は北海道から九州まで広く分布し、石綿を含むことが多く、資源エネルギー庁



によると、近年は採掘量が減っているものの、

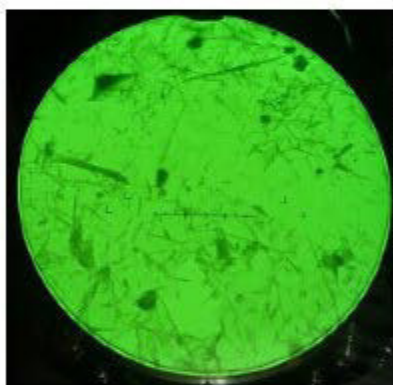
10年前の2007年には国内で年156万トンが採掘され、セメントの材料や石材として流通している。石綿そのものの使用は労働安全衛生法で禁止されているが、蛇紋岩の使用は認められている。

男性が労災認定されたのは今年4月。労基署の調査などによると、男性は1970〜82年ごろに週2、3回、愛知・静岡県境の採石場で蛇紋岩を仕入れ、庭石として販売していた。表面を電動工具で削るなど加工することもある。別の仕事に従事した後、92〜05年には、造園の仕事で蛇紋岩を切断したこともあった。

男性は蛇紋岩に石綿が含まれていることを知らず、マスクなどの安全対策は取っていないかったという。

男性は15年春に肺がんを診断され、手術で肺の一部を摘出。仕事の原因と考え、熊谷労基署に労災申請した。手術で摘出された肺の組織を同署が調べたところ、労災認定基準の数倍の石綿が検出された。仕事で蛇紋岩に含まれる石綿を吸い込んだことが肺がんの原因と判断し、労災認定した。

透過型電子顕微鏡で見た蛇紋岩。針状に見えるのがアスベスト。中央の目盛りは全長0.005ミリ。久永直見・愛知学泉大教授提供



蛇紋岩による石綿被害を研究する久永直見（なほみ）愛知学泉大教授（産業医学）は「蛇紋岩由来の石綿被害の実態は分かっておらず、労基署が被害を認めた意義は極めて

大きい。蛇紋岩は身近にあり、隠れた被害者が相当数いる可能性がある。国は作業員らに危険性を周知すべきだ」と指摘する。

■解説

健康被害、実態調査を

蛇紋岩に含まれる石綿で肺がんになったとして、埼玉県の男性（71）が労災認定された。石綿を吸い込んだ場合、数十年の潜伏期間を経て中皮腫や肺がんになる危険性がある。中皮腫の原因は石綿とほぼ特定できるため、診断の段階で労災や石綿健康被害救済法が適用されやすい。

肺がんは喫煙など他の要因も考えられるため、患者や主治医が石綿が原因と疑わない場合も多く、中皮腫の2倍の患者がいるとの研究結果もある。

労災認定された男性は、長年仕事で蛇紋岩を扱っていたが、肺がんを診断された当初は石綿が原因とは思ってもいなかった。偶然、個人で加入していた労働組合から紹介された医師らに蛇紋岩についての知識があり、作業歴を丁

寧にたどることができたため認定につながった。このようなケースは非常にまれだ。

厚生労働省は、建築現場の作業員らのための「アスベスト分析マニュアル」で、蛇紋岩にも石綿が含まれていることを記しているが、その危険性が現場に浸透しているとは言い難い。どの程度吸入したら健康被害が出るのかも不明だ。国は蛇紋岩由来の石綿による健康被害の実態を早急に調べるべきだ。

■ことば（蛇紋岩）

国内に広く分布する岩石で、表面の模様が蛇の皮に似ていることからこの名がついた。比較的安価で、表面は緑色や黄色で光沢がある。コンクリートに使う砂利に加工されるほか、模様の美しさから庭石や装飾品などにも利用される。

部分によって石綿が含まれ、風化によって繊維状の石綿が飛散することもある。角閃石（かくせんせき）やタルク（滑石）にも石綿が含まれている。（毎日新聞12月26日）

うたごえ喫茶

全国のうたごえ喫茶ファンの皆様、新年明けましておめでとございます。2018年の幕開けは

①1月13日(土) 14時
会場：だいふく5階

電話：53-3333
②1月24日(水) 14時
会場：れんが停

(橋交差点そば)

電話：58-3330

①②それぞれドリンク代
500円

夏上映100人大会 「ペコロスの母に会いに行く」

1月21日(日)

①10時

②13時30分

会場：だいふく5階

鑑賞料：500円



監督 .. 森崎東
主演 .. 赤木春恵

あらすじ

長崎で生まれ育った回塊世代のサラリーマン、ゆういち(若松了)。

ちいさな玉

ねぎ「ペコロス」のようなハゲ頭を光らせながら、漫画を描いたり、音楽活動をしているながら、彼は父さとの(加瀬亮)の死を



本物のペコロスとみつえさん

契機に認知症を発症した母みつえ(赤木春恵)の面倒を見ていた。迷子になったり、汚れたままの下着をタンスにしまったりするようになった彼女を、ゆういちが断腸の思いで介護施設に預けることに。苦勞した少女時代や夫との生活といった過去へと意識がさかのぼっている母の様子を見て、彼の胸にある思いが去来する。又、この作品で多くの介護従事者が励まされた。連絡先：橋本さん 電話：(53) 7663

2017年のソリダリテ。今年は最優秀賞を狙って

This section displays a grid of 14 pages from the 'Solidarity' magazine. Each page features a mix of text, photographs, and illustrations, covering topics such as community events, local news, and social issues. The layout is dense and visually engaging, showcasing the magazine's content for the year 2017.

2018年 大增税の嵐

2017年は北朝鮮の核ミサイル問題、アメリカトランプ政権による暴挙とイスラエル問題、安倍政権による嘘、隠蔽、改悪などい

ろんな問題が出ました。これは、2018年に続く大きな問題です。衆院解散選挙では希望の党の出現による野党分裂により安倍自公政権に大敗してしまいました。これに伴い、参院選挙は再来年、衆院選挙は4年後という形です。

来年は選挙が無いという事で、自公政権による大增税が2018年に行われます。総選挙で自公政権が勝ったことで、各省庁の官僚たちは予算を増やすべく、現状有るものの増税、新しく新設する税など政府に進言、実行しようとしています。

現政府は選挙の無い年に増税すれば国民はどのくらい苦しむのか。選挙時は関係ないといふタカをくくっている。

増税されるのは、年収850万以上のサラリーマン、年金生活者等低所得の非課税世帯まで幅広く増税しようとしている。

おまけに新設されるのは、海外渡航する人への出国税、観光客への宿泊税、国内森林を保全するための森林税は市町村に課すため実質の市町村税への増税になる。

取りやすい嗜好品のたばこ税(電子タバコ含む)、ワイン税、第三のビール税などなど。更に検討中の子無し税や独身税、死亡税など。

更に2019年10月には「消費税10%」も控えている。

サラリーマンに対する必要経費の控除や配偶者控除の見直し。

年金生活者、生活保護者の受給減額。75歳以上の医療費を2割負担へ。

難病患者、障害年金者の抑制、ふるい落としなどなど書ききれない。

半面、モリカケ問題では総理による予算の私物化！防衛予算5兆9千億円、海外へのバラマキ向こう5年で数兆円を有に超えている。

議員は節制すべきだと言って止めた議員年金の復活をも画策し、近頃では、外相が外遊するための専用ジェット機が欲しいなどと吹かしている。

増税で国民を苦しめ、自分の金ではない税金をいのように使えばバラ撒くこの政権には一刻も早く退陣していただきたい。

更にはだらしなしい野党は、一刻も早くこの状態を脱するべく力を発揮し、カリスマ性を持ったリーダーの出現に期待します。

(高橋)



2018年 1月からの行事予定

- 1月4日(木) 10:00~ 建交労大牟田支部「旗開き」
- 5日(金) 10:00~ 労職分会新年定例会
- 13:00~ 福建労大牟田支部旗開き(平川・津波古)
- 9日(月) 13:00~ 公共一般分会新年定例会
- 11日(木) 築炉じん肺弁護団会議
県労連旗開き
- 17日(水) 支部執行委員会
- 21日(日) 10:00~ 第62回支部委員会
(組合3階大会議室)
- 13:00~ 民間分会定例会
- 23日(火) 14:00~ 大牟田社保協幹事会
- 26日(金) 新春の集い(東京)
- 2月2日(金) 10:00~ 労職分会定例会
- 3日(土) 県労連評議員会

じん肺検診経過 (12月末時点)

- ・石綿健康管理手帳取得者…2名
- ・石綿健康管理手帳申請中…2名
- ・石綿健康管理手帳再申請予定…1名
- ・じん肺管理区分3イ…2名
- (内1名は西日本石炭じん肺弁護団へ)
- ・じん肺管理区分審査請求…2名

人間らしく働くための九州セミナーinくまもと

このセミナーには、長崎、大分、鹿児島、佐賀、沖縄に続く6回目の参加となります。

今回は、11月25日(土)26日(日)、東海大学キャンパスを会場に開催。

約450名の方が参加。セミナーのテーマは「家族

的責任と自分らしく果たす権利と健康」として取り組みました。

家族の責任とは、家事や育児、介護の事ですが、社会的に解決すべき「負担」としての側面と、人々がその生活を豊かに過ごすべき「権利」の側面もあります。家族の責任の負担については、社会保障の充実によって補いつつも、家族の責任を自分らしく果たす権利を保障されています。

ところが、私たちの現在の働き方は、家族の責任を自分らしく果たす権利を保障されているとは言えません。

政府は、「働き方改革」の議論を進める中で、電通の過労死事件などの痛ましい事件が相次いでいるにも関わらず、月80時間、年960時間

もの時間外労働を容認する、言わば過労死を促進するような労働基準法の「改悪」を実施しようとしています。

働くことは、私たちの家族の命や健康を守り、暮らしを豊かにするためのものです。

しかし、働くことで命を落とす方は後を絶ちません。労働は義務であると共に、生活を豊かにするためのものです。死に繋がることであってはなりません。

また暮らしを豊かにするための労働により、家族との時間がほとんど持てない働き方をさせられて、かえって豊かさとは程遠い生活を余儀なくされている人も珍しくありません。

記念講演として、ワークライフバランス労働法の役割、労働者の家族的責任と健康の視点から考える講師・斎藤周教授でした。講演は「もしも毎日5時に職場を出られたらいい」「もしも年休が1週間とれ

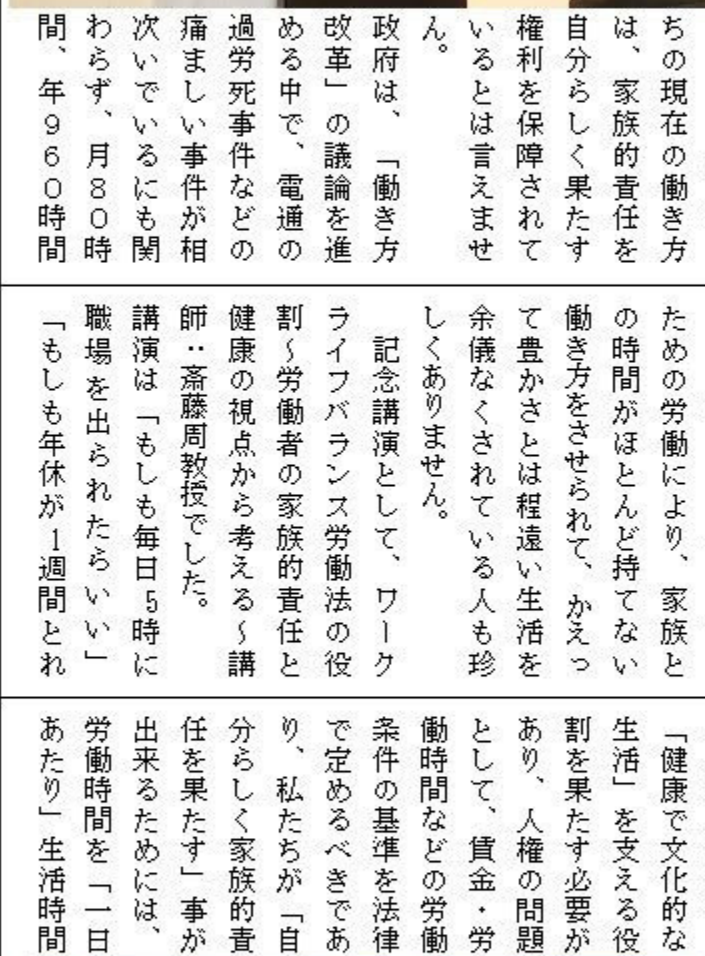
たらいい」何をするかという投げかけから始まりました。「子供たちのお迎え」「日本旅行」など会場は和やかな雰囲気になりました。各国の年間労働時間を比較すると、ドイツ・フランスが約1300〜1400時間、イギリスが1660時間であるのに対して、日本は約1740時間となっているのです。

人権の視点として憲法を考え、労働基準法や最低賃金法は「健康で文化的な生活」を支える役割を果たす必要があり、人権の問題として、賃金・労働時間などの労働条件の基準を法律で定めるべきであり、私たちが「自分らしく家族的責任を果たす」事が出来るためには、労働時間を「一日あたり」生活時間

を「一日単位リズム」で考えていく事が需要であることを学びました。また、勤労に対して、家族の責任、配偶者の就業場所、子供の教育に対しても考える必要があります。

労働者の健康を考える時にも、労働者の家族的責任を考えると「健康で文化的な生活」がカギになることを学びました。

(多田)



分科会に参加して

セミナーは11月25・26日の両日、熊本市において開催されました。2日目はそれぞれの分野に分かれて分科会が行われ、私は「なくせじん肺アスベスト」の分科会へ行き私の発言内容は次の通りです。

今日の報告は8月10日に行われました、西日本じん肺訴訟和解勝利と11月21日に行われ、した築炉じん肺損害賠償裁判について報告したいと思えます。西日本じん肺裁判については、報告原稿にあります。西日本じん肺裁判は、報告原稿にありませんが築炉じん肺裁判は、今月21日に行われました。この二つの裁判には二つの共通点があるように思われます。一つは作業従事期間の問題です。西日本じん肺訴訟で、国は原告の坑内従事期間が短いことから当初裁判による決着を求めてき

ました。また築炉じん肺裁判では被告ヤマサキが絶対的曝露とされる期間も線引きとしては8年程度が妥当なものと思われるとして両者とも期間が短いことで争う姿勢を見せます。二つ目は弁護士です。これは全く対照的でした西日本じん肺では裁判所が和解案を出してきます。この和解案はあまりにも低い金額であり命を軽んじる態度であったため、飯塚の小宮弁護士が強い口調で「和解はしません裁判でたたかいます」と熱く裁判長に語られました。

築炉じん肺では福岡の岩城弁護士が意見陳述され「業務上認定を受けるけい肺法・じん肺法の因果関係についての考え方」を述べられました。この「動と静」に対する二人の弁護士によって解決へ大きく前進したことは間違いありません。岩城弁護士が述べられたじん肺法は、じん肺管理区分決定を速やかに進め、被災者の健康管理と保障を確かなものとしていくため「当該作業に従事する労働者がじん肺にかかる恐れがあると医学上、衛生学上客観的に判断される作業」を「粉じん作業」と定め、これをじん肺法施行規程の別表に規定しています。粉じん作業に就いていたことは要件ですが、就業の期間の長い短い問題とされておりません。そもそもじん肺法が求めているのは「築炉作業についていたか否か」の点であって、作業場に粉塵が多かったかどうかや作業年限が長かったかどうかという点ではないのです。被告らは原告らが就労した事業所ごとに、かつ就労した工事ごとに作業を特定し作業内容を明らかにしるといった無理難題を求めています。しかしそれは不可能を強いるものです。一度限りの労災事故であれば、その特定は不可欠でしょうが、法の定める築炉作業

はいわば「変哲のないレンガ積み作業」という日々繰り返される単純作業であって、その全体の状況や流れを概況として記憶することではできても、その逐一や細部を記録し再現することは不可能と言えます。被告らが因果関係を争う確固たる理由も示さず、ただ「因果関係の主張立証責任は原告にある」と繰り返してき

たこの一年数ヶ月を振り返ってみるとき、この論争を続けることは意味がなく期日の浪費と言えらると思います。この問題は打ち切り原告らの本人尋問に移るべきであると原告ら代理人は考えます。原告らは被災者でもしも高齢です1日も早い審理による早期の救済の実現を求めます。
(濱田)

